

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会議の名称	令和4年度第2回宍粟市地域包括支援センター運営協議会 及び令和4年度第1回宍粟市地域ケア推進会議	
開催日時	令和5年3月9日（木） 13:30～15:00	
開催場所	宍粟市役所北庁舎4階 401会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	垣尾会長	
委員 氏 名	（出席者） 船曳委員、米田委員、井原委員、橋本委員、 植田委員、溝端委員、堀田委員、縣委員、 西川委員、前野委員、水谷委員、竹井委員	（欠席者） 山田委員、中尾委員、 志水委員、岸本委員、 平山委員
事務局 氏 名	（健康福祉部） 藤井次長、三木次長 （一宮保健福祉課） 菅谷係長、高田主任保健師 （波賀保健福祉課） 坂口主任保健師 （千種保健福祉課） 堂田副課長 （福祉相談課） 有元課長、栗山副課長、吉田係長、中川理恵子	
傍聴人数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項）  3. 宍粟市地域包括支援センター運営協議会 （1）令和4年度地域包括支援センター事業報告について （2）令和5年度地域包括支援センター運営方針、予算について 令和5年度介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業の 一部委託について → 承認  4. 宍粟地域ケア推進会議 （1）地域課題に対する取組みについて意見交換	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認 （記名押印）	（委員長等） _____ ㊟	

(会議の経過)

発言者	課題・発言内容
事務局	1. 開会
健康福祉次長	2. あいさつ
事務局	3. 宍粟市地域包括支援センター運営協議会 (1) 令和4年度地域包括支援センター事業報告について 資料1を用いて事務局より説明する。
A 委員	先ほど給食サービス事業について、安否確認から支援につながった事例を挙げてもらったが、例年このような支援につながった事例があったのか。
事務局	例年事例はあり、社会福祉協議会から報告を受けている。 デイサービス送迎時から支援につながった事例もある。
A 委員	配食サービス以外にも牛乳配達、新聞配達など事業者と協定されているとのことだが、輪が広がっていくことが大切だと思っている。そういう活動を続けてほしいと思う。
事務局	(2) 令和5年度地域包括支援センター運営方針、予算について 資料2、3、4を用いて事務局より説明する。
B 委員	今自分もいろんな支援がある中で生活できている。 最近立て続けに支援をした人があった。 近所のひとり暮らしの男性が、発熱があり食事も水分も摂れていない状態だった。よく知った人ではあったが、家に入ったことがなかったため隣の人と2人で訪問して好きな甘いコーヒーを飲んでもらった。お茶も一リットルくらい飲んでもらった。 様子見をしていたところ、自宅に設置していたカメラで訪問者を確認された娘から連絡が入った。娘も息子も今すぐには動きが取れないとのこと。夕方に近くのご親族へ連絡しその日は帰った。後日腹膜炎を起こしており手術されたと聞いた。  もう一件は本人の別居の娘から連絡がはいり、母の体調が悪いため自分が

A 委員	<p>帰るまで様子を見てほしい、すぐには駆けつけられないと。訪問し血圧を測って様子を見ていた。次の日娘が病院に連れて行かれた。</p> <p>きめ細やかな社会資源はたくさんあるが、その社会資源につなぐまでの、いざ今の支援に悩むことがある。</p> <p>隣近所にカーテンが空いていたら気をつけてね、と約束事しておくことが大事だと思う。</p> <p>昔は当たり前だったが、今、勝手に家に入るとかえってトラブルになることもある。本人が配食事業者や郵便局、新聞社など契約していれば、場合によっては警察に通報することもできるが、そうでない近所の人だと勇気がいると思う。</p>
事務局	<p>市からの訪問も複数で対応するようにしている。</p> <p>普段からの付き合いがよくて頼みあえる関係ならよいが、希薄になっている中でどうすればよいのかが課題である。</p>
A 委員	<p>踏み出す勇気を持つために、2人なら自宅に入ってよい、など何か基準を行政から市民に示せる方法がないものか。</p>
C 委員	<p>一昨日ひとり暮らしの男性に、自宅の電気がついていないと生きているか死んでいるか分からないのでつけておいてくれる？と言ったところだったが夕べ亡くなった。一人暮らしの人は何が起こるか分からない。</p>
事務局	<p>4. 宍粟地域ケア推進会議</p> <p>(1) 地域課題に対する取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア推進会議について</li> <li>・地域ケア会議から見えてきた地域課題について <ul style="list-style-type: none"> <li>①高齢期における筋力維持</li> <li>②薬の適切な服用</li> <li>③口腔の機能維持</li> <li>④高齢期における適切な食生活</li> <li>⑤男性の地域における居場所づくり</li> <li>⑥高齢な親と離れて暮らす子どもとのかかわり</li> </ul> </li> <li>・生活支援コーディネーターの活動から見えてきた地域課題等について</li> </ul>

事務局	<p>買い物と移動の課題からつないだ支援について 今後の展開について</p> <p>(2) 意見交換</p> <p>昨年度書面開催時にご意見をいただいたが、その他地域課題に対して考えられる取組みがあればご意見いただきたい。</p> <p>見守りについてはスマホやカメラでの安否確認を行うことも一つ方法としてある。</p>
D 委員	<p>薬剤師会ではポリファーマシーが大変問題となっている。特に高齢者では複数の医療機関にかかっている人が多い。医療機関ごとに薬の処方があるため、5種類以上の薬を処方されている人は75歳以上で4割。ひとつひとつに副作用があるため数が増えれば増えるほど副作用が起こる可能性が高くなる。自宅にある薬をすべて薬局へお持ちいただき薬剤師が確認している。</p> <p>マイナンバーカードで本人が飲んでいる薬の情報を確認できるようになっている。薬剤師会では飲み合わせの問題について取組んでいる。</p>
事務局	<p>地域ケア推進会議は自立支援サポート会議や地域ケア個別会議から上がってきた課題をさらに深め新たな施策につなげていくことを目的としている。</p>
E 委員	<p>初めて参加する委員には地域課題、個別課題と言われても言葉の意味が分からないと思う。</p> <p>介護支援専門員として関わる中で、自分一人の支援では大変だなと思うケースを地域包括支援センターへ事例提出して専門職から意見をいただいている。また自分の支援を見直すこともできている。</p> <p>課題を積み上げ、個人の課題ではなく地域で取り組む課題として考えていく会議である。地域で住んでいる人に対して地域で手助けできればうまく生活できるのではないかと考えていただければと思っている。それぞれの立場からできることがあると思うので合わせて考えていただけたらと思っている。</p>
事務局	<p>本日は実践につながるような取組の協議は十分にはできなかったが、来年</p>

度も会議は同様に開催するので、普段の生活の中から、またそれぞれの立場からどんな取組ができるか考えていただき次回につなげていきたいと思う。

5. その他

6. 閉会